

議会だより



沖縄県金武町

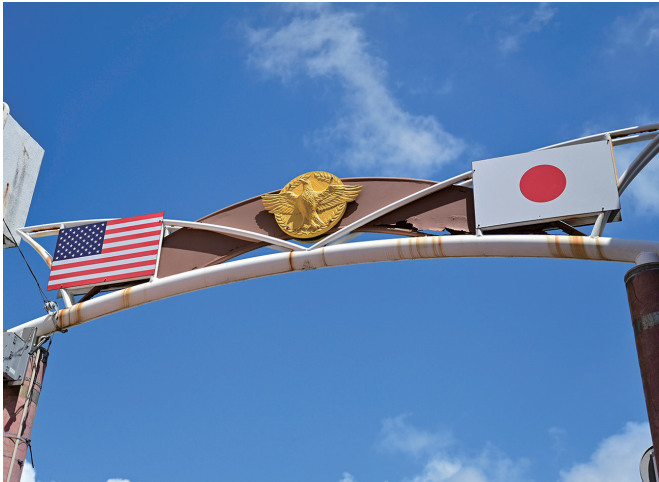
きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第174号

発行：令和5年9月1日



【新開地】レトロな繁華街。異国情緒漂う金武町のディープエリア。

主な内容

一般質問 P2~14

伊藝菊博P2 / 吉野 潤P3 / 山里 均P4 / 外間慎仁P5 / 伊藝直樹P6

仲間トムP7 / 前田健次P8 / 與那城直也P9 / 池原政文P10

仲村広美P11 / 大城一之P12 / 松田健人P13 / 大城政敏P14

令和5年第5回（6月）定例会 / 令和5年第6回（8月）臨時会等 P15~20

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT 098 - 968 - 2292

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.lg.jp

きんてん（均霑）とは…「均しく霑う」という意味で町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行1号の際に命名しました



令和5年第5回(6月)定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



伊藝菊博 議員

海岸護岸整備

伊藝議員 令和3年6月定例会の一般質問で、光が丘付近から伊芸避難港までの海岸護岸整備について沖縄県、国道事務所と整備に向けて調整を行うとの答弁だったがその後は。

仲間一町長 当該箇所の整備は護岸背後地に保護するための住宅等がないことから、海岸保全区域外となっていることや既設護岸の整備経緯等が不明なことが課題である。
令和4年11月16日に国土交通省に重要港湾である金

武湾伊芸地区の国道329号沿い既設護岸が崩落しているため、現場確認の上、対策を行うよう要請をしている。

伊藝議員 現場は護岸が削られ応急措置を行って頂きたいのだが。

伊芸剛建設課長 海岸の背後地に防護する住宅等がないため海岸保全指定区域外であることや、崩れている海岸は当時どこが整備したのか整備経緯が分からないため、整備が進められていないとのことである。



国道329号沿いの護岸

伊藝議員 渡久比那川からチヨ原、嘉芸小学校付近の海岸護岸整備について屋嘉区の意見、嘉芸小学校側の意見を伺うとのことだったがその後は。

町長 意見聴取で嘉芸小学校からは海岸における児童の安全が最優先だが児童の自然学習の場を保ちつつ両立できることが好ましいとの意見であった。

屋嘉区からは海岸護岸整備の要望があった。

伊藝議員 屋嘉区との具体的な内容は。

建設課長 渡久比那川から護岸があるが、嘉芸小学校付近で途切れ、チヨ原から護岸があるためそこをつなげれば散歩等に便利だということである。

伊藝議員 ウォーキングができる護岸整備に向けて進めてほしいが。

町長 護岸整備することでの地域の砂が流されて全部なくなる可能性があるため専門家に調査させていく。

今後は砂浜を自然に残していく方法は取れないのか屋嘉区と一緒に考えていく。



嘉芸小学校側の海岸

行政サービス

伊藝議員 各地区で実施している住民票等交付サービスの現状は。

町長 これまで令和2年度に中川区から住民票交付申請が1件あり、交付を行っている。

伊藝議員 対象は。

伊芸英明 住民生活課長 屋嘉区、伊芸区、中川区の70歳以上、基本的に車を所有していない交通弱者の

方々と障がい等により役場までの来庁ができない方々が対象である。

伊藝議員 マイナンバーカードを活用したコンビニエンスストア等における証明書等自動交付の考えは。

町長 証明書等自動交付導入及び維持に係る費用と提供可能なサービスとのバランスを慎重に見極める必要があることから、現在のところ導入していない。

国は今後さらなるオンライン化の推進が図られ、添付書類が省略可能な行政手続が増えていくものと考えられるため、町はその動向を注視し、国によるデジタル社会実現の取組に沿った行政運営を行っていく。

伊藝議員 町のマイナンバー申請率と交付率は。

住民生活課長 令和5年5月末現在、交付数6001枚、交付率52.2%である。



吉野 潤 議員

行政運営と今後の行政サービスの取り組み

吉野議員 町長は日頃より目配り・気配り・心配りの行政を心掛けているが、町の目指すところの行政運営はしっかりと行政の末端まで行き届いているか。

仲間 一町長 行政サービスを行うにあたっては町民から苦情や苦言はあるが、目配り・気配り・心配りを念頭に置き、業務を行っている。

吉野議員 令和3年度は確定申告の事前受付を行ったが、4年度は事前受付を行わなかったが、理由は。

町長 申告会場において時間どおりに来ない方、予

約をしないで来る方々が多く、時間に空きができてしまうことや、予約をした方が長時間待たされること等を改善するため令和4年度は整理券を発行し、システム利用による方式へ変更した。

吉野議員 受付できずに帰されたという苦情はなかったか。

與那城樹 税務課長 誰一人帰していない。

吉野議員 僕の方には仕事を休んで来たのに帰されたという相談があった。

土曜、日曜、祝祭日の時間外で対応を考えるべきではないか。

税務課長 給与支払い証明報告書の確認や税務署へ確認作業があるが、土日等は休みとなっておりそういうことをクリアできれば前向きに検討していきたい。

吉野議員 以前、内閣府から政策調整監が2年間町で業務を行っていたが、今後活用する予定はないか。

町長 現在、政策調整監を活用する予定はないが、諸政策等で必要が生じた場合は検討をしていく。

屋嘉団地

吉野議員 町が示しているローリングでは令和6年度基本設計計画作成とあるが、計画どおりに変わりはないか。

町長 現在調整中の屋嘉団地建替事業が採択された場合、全体計画で令和6年度、設計に着手し、8年度完成を目指すものとなる。

吉野議員 この計画について場所の選定や団地の規模等について屋嘉区と協議したことはあるか。

町長 令和4年度の行政懇談会の議題として取り上げられた際に既存の敷地内に集合住宅、入居戸数12戸の建て替えの事業化に向けて取組む旨の説明をした。

吉野議員 行政懇談会の内容は。

伊芸英明 住民生活課長 区からは隣にある町有地、元捕虜収容所跡地を活用してはどうかという話があった。

町としては既存施設の老朽化が著しいことからその場所建て替えに向けて取組んでいる説明をした。

吉野議員 行政懇談会は町の考えを説明するだけではなくお互いの意見、区の要望も聞き入れてくれるというのが行政懇談会の在り方だと考えているが。

住民生活課長 行政懇談会は区の諸課題に向けて町として取組んで、区の思いも聞きながら取組んでいく場所と認識しているが、隣の土地は町として有効利用していきたいと話をしている。

知念久 総務課長 捕虜収容所跡地の件について町は歴史的背景を踏まえた有効な活用ということで、戦跡に関わる形の公園的なものを整備したいと考えている。

水産業の振興

吉野議員 中間浮き漁礁設置後の魚の水揚量は。

町長 令和2年度16・4トン、3年度10・4トン、4年度18・9トンである。

吉野議員 金武漁港の競りの状況は。

町長 平成22年まで実施していたが、漁業者の高齢化等による取引量の減少や買受人の減少により、競りは実施されていない状況となっている。



建て替えが計画されている町営住宅屋嘉団地



山里 均 議員

新ゲート2(旧ゲート1) 閉鎖関連事項

山里議員 新ゲート2(旧ゲート1)は歩行者専用となり車両の通行もないため、信号機を押しボタン式へ変更するよう関係機関へ要請する考えはないか。

仲間 一町長 町民からも同様の申入れがあり、キャンプ・ハンセン関係者からも沖縄防衛局に対し、同様の要請を行っていると言っている。

町としても快適な交通環境を確保するため、石川警察署に対して早急に要請していく。



歩行者専用となっている新ゲート2の信号機



キャンプ・ハンセン新ゲート2

山里議員

以前、金武町公共駐車場はYナンパー車両の駐車が大半だったが、今は減少しているのを感じる。これまでに町内飲食店等への影響があったか。

町長 週末にかけてレンタカー等を含む多くの車両の利用を確認しており、新ゲート2の閉鎖に伴う町内

飲食店等の売上減少の影響はないと金武町社交飲食業組合から聞いている。



飲食店へのメインゲート

山里議員

新ゲート2周辺は主に外国人相手の客待ちタクシーの待機場所であったが、今ではその光景がない。タクシーへの影響や現在待機する場所があるのか。

町長 新ゲート2周辺は現在不定期だが、個人タクシーや町外のタクシーが乗車待ちをしている状況を確認しており、新ゲート2の閉鎖に伴う影響はないと考えている。

ヤングケアラー

山里議員

沖縄県は令和5年4月15日に県内の国公私立学校の小学校5年、高校3年までの全児童・生徒13万6065人を対象とした初のヤングケアラー調査の結果を公表したが、町内の対象者と調査期間は。

比嘉貴一 教育長

町内の小学5年、中学3年を対象に令和4年9月12日、10月28日まで調査した。

山里議員

県の回収率は40・6%となっているが、町の回収率は。

教育長

町の調査対象者数659人、回答者数は253人、回収率は38・4%となっている。

山里議員

ヤングケアラーと思われる小学生5年、中学生3年までの人数は。

教育長

自分がヤングケアラーに当てはまると回答

山里議員

調査結果から家族の世話をしている児童・生徒の人数と世話をしている頻度、時間等は。

教育長

世話をしている家族がいると回答したのは不定期のもの、比較的軽微な子どものお手伝いの範疇のもの等を含めると53人となっている。その内、家族の世話を1日当たり3時間以上行っていると回答したのは38人。その内、世話をしているためにやりたいことができないと回答したのは7人で、何らかの影響が出ていて支援が急がれる子どもとなっている。

やりたいことができないと回答した7人が世話をしている時間(人)

時間	平日	休日
3時間未満	6	2
3～7時間未満	1	4
7時間以上	0	1



外間慎仁 議員

PPP・PFI事業の活用

外間議員 PPP・PFI (官民連携) 事業の実施予定はあるか。

仲間 一町長 令和元年9月に沖縄振興開発金融公庫と地域開発プロジェクトに係る助言業務協定を締結し、PFIに関する情報交換等を継続して行っている。

今後は事業スキーム、現在活用している国や県の補助金制度との比較、具体的なノウハウ等の形成等、官民連携事業に取組むにあたっての課題を整理し、よりよい手法の在り方について検討をしていく。

外間議員 ギンバル跡地

利用についてPFI事業は調査した方が良く考えるが。

仲間 功 町長 観光課長

ギンバル跡地はいろいろな建設・整備されているため、PFI等活用して民間を誘致する等を踏まえて今後どういった形ができるか検討していく。

外間議員 PFIを含めた民間活用はどのように考えているか。

町長 沖縄振興開発金融公庫と開発計画に係るプロジェクトの協定を結んでおり、ノウハウを学びながらPFIが町の財源が安定的に運営できるような形になるなら今後検討する必要があると考える。

コミュニティデザイナーの活用と育成

外間議員 地域まちづくりの活性化にはそれぞれの特徴を活かしたまちづくりが必要になってくる。町の様々なよい素材をデザイナー、コーディネーターする役

割が必要だがコミュニティデザイナーの活用と育成についてどのような方針、取り組みを行っていくか。

町長

人の繋がる仕組みをつくるコミュニティデザイナーの活用等も検討しながら地域の方々やNPO、商工業者、観光業者、町内民間企業、交通事業者等、違った視点を持つ多くの人と人とを繋ぎ、みんなでまちづくりを進める機運の醸成を図っていく。

外間議員

観光振興費が町のためにしっかりとした予算で使われているのかを外部の方を招いて見てもらい、まちづくりのデザインをやってみてはどうか。

伊勢 勲 企画課長

専門的知見のノウハウや経験を持つ方を派遣して専門的な立場からアドバイスをもらうことは今後必要だと感じているため検討していく。

新開地の活性化と駐車場整備・建設

外間議員

これからの新開地の活性化と観光客等の受入れには駐車場整備・建設は必要だと何度も提案しているが、進捗状況は。

町長

駐車場の整備・建設は新開地周辺地域でまとまった用地が確保できず、新たな整備が困難な状況にある。

新開地地区における駐車場の確保は町の大きな課題と捉え、既存の駐車場を有効に活用できるよう取組むとともに、課題解決に向けて様々な方策を検討していく。

外間議員

子ども議会でも駐車場の問題が取り上げられる状況である。

商工会と社交飲食業組合と意見交換する中で事業所も努力が必要であり民間に促すべきだと考えるが。

商工観光課長

タコライズ販売店がある道路は混雑が多々見受けられる。

レンタカーで来る観光客には情報発信をして公共駐車場がある場所への誘導も必要だと考えているため社交業飲食組合、観光協会や商工会と話をする必要がありと感じている。



両サイドに路上駐車されている新開地の道路

その他の質問事項

複合庁舎建設



伊藝直樹 議員

町内各区の公園

伊藝議員 各区に整備されている公園の面積は。

仲間一町長 (左表のとおり)

各区の公園面積 (㎡)

区	面積
金武	22,909
並里	15,713
中川	22,184
伊芸	28,468
屋嘉	7,164

伊藝議員 乗用草刈機の台数は。

町長 作業効率が1時間当たり6000平方メートルの乗用草刈機を1台保有しており、保管場所が伊芸区公民館となっている。

伊藝議員 中川区が使用したい場合は。

伊芸剛建設課長 使用する場合は伊芸区事務所から自走か町のユニック車を借用して移動となる。

伊藝議員 乗用草刈機、軽トラックを町が各区に提供してはどうか。

町長 乗用草刈機は各区で作業日程を調整しながら利用できるものとなっております。今後も引き続き共同で活用してもらいたいと考えている。

軽トラックは現在、並里区、金武区、伊芸区が1台保有しており、さらに各区においては2トントラックを1台ずつ保有している状況であり、作業の頻度や稼働状況等を踏まえながら検討していく。

伊藝議員 2トントラックは重量であり、軽トラックは軽いため公園の芝生を傷めないと考えるため軽トラックを提供できないか。

建設課長 軽トラックを

自前で買っている区もあるため稼働状況も含めて調整検討が必要になると考える。



乗用草刈り機

金武町中川区に建設予定されている金武地区一般廃棄物最終処分場

伊藝議員 中川地区のどこに建設予定しているのか。

町長 金武町粗大ゴミ置場の南側に予定をしている。

伊藝議員 進捗状況と今後のスケジュールは。

町長 令和元年度に基本構想を策定し、2年度に基本設計を終えている。また、3年度以降は生活環境調査並びに米軍との共同使用手

続を進め、5年5月24日に日米合同委員会において合意された。5年度は実施設計に着手し、7年度工事完了、8年度の供用開始に向けて取組んでいる。

伊藝議員 どのようなものを受け入れるのか。

町長 金武地区清掃センターから焼却残渣等を予定している。

伊藝議員 中川区から要望があったのか。

町長 平成17年12月21日に金武地区一般廃棄物最終処分場建設に関する覚書が締結され、町としては要望を踏まえ実施できる事項から取組んできたところである。

伊藝議員 中川区長、行政委員会に説明をしたのか。

伊芸英明 住民生活課長 令和3年度に金武地区消防衛生組合と住民生活課で区長やその関係者の方々に説明をしている。

金武町特用林産物(ぶなしめじ)生産出荷施設

伊藝議員 施設が閉鎖した理由と施設、機械の耐用年数は。

町長 新型コロナウイルス感染症の影響でホテルや外食産業への販売が減少したことや本土から安価なキノコの流入による市場競争の状況、設備の修繕費用等の負担が重なり、運営主体の株式会社雪国まいたけから令和3年9月に事業撤退の意向を受け、他企業への事業継承も模索したが4年6月に会社法に基づく清算が終了し、閉鎖となった。施設や機械の耐用年数は建物38年、機械類が10年となっている。

伊藝議員 今後どのように施設を活用するのか。

町長 施設の賃貸借にて当該施設の活用を考えており、有効活用できるよう努めていく。



仲間トム 議員

**国道329号バイパス
交差点**
仲間議員 国道329号バ

イパス中川交差点は宜野座方面から市街地へ右折する多くの車両がショートカットで右折を行うため、市街地から来た車両の一時停止ライン付近がとても危険だと常々感じているが、安全対策は。

仲間一町長 道路管理者である北部国道事務所へ現状の報告を行っている。

また、本交差点付近は現在、コンビニエンスストア等の建設計画（令和5年6月現在）がされており、今後の状況も見据え、合流地点の一時停止及び信号機の



金武バイパスの中川交差点

設置等も含めて北部国道事務所と協議をしていく。

仲間議員 大回りさせるためにポストコーンを設置した方が良いのでは。

伊藝勲企画課長 金武大橋からバイパスに出る一時停止線左側のブルーシート（三角島）、ゼブラゾーンで囲んでいる部分に道路線形を若干寄せられないか考えている。

ポストコーンも含めて早めに協議していきたい。

金武町特用林産物（ぶなしめじ）生産出荷施設

仲間議員 施設は定期的に管理や点検はしているのか。

糸村昌敏 農林水産課長

農林水産課が定期的に現場に行つて工場内の換気システムを稼働させている。車両系についてもエンジンをかけて敷地内で動かしている。

夜間は機械警備を稼働して対応を行っている。

仲間議員 年間電力費用とその内訳は。

農林水産課長 約200万円。円で街路灯等の電気設備と施設内換気のための空調設備、警備機械費である。

仲間議員 車両は何台か。

農林水産課長 町名義の保冷車両が2台あり、車検もナンバーもある状況で管理をしている。

仲間議員 今後の運営計画はあるか。

農林水産課長 これまで

6社の業者が工場も見ても交渉を進めてきたが、施設が大きいため設備投資、維持管理経費が捻出できないというところで断念している。

現在は1社と交渉中で今後は工場運営や生産等が町の考えと一致するかどうか見極めながら検討していく。



金武町特用林産物（ぶなしめじ）生産出荷施設

水田のカモ被害

仲間議員 稲や田芋の植付けが終わるとカモに苗を荒らされる被害が起きているが、カモやその他害鳥から苗を守る対策方法はあるか。

町長 鳥害対策として侵入

防止策の浅水管理、テグスや鷹の形をした防鳥器具の設置、侵入したカモ等の追っ払い対策として超音波や突発音、光を出すセンサー付の機器等の設置等、各農家が様々な対策を試行している。

仲間議員 超音波の効果は。

農林水産課長 試験的に設置した農家から効果はあったと聞いている。

仲間議員 野鳥と農家とのバランスはどう解決できると考えているか。

農林水産課長 うまく共存共栄ができるのか難しい課題だが、関係者と意見交換している。

その他の質問事項

安心サポートカーの普及推進

パークゴルフ場の駐車場



町制施行45周年事業



前田健次 議員

前田議員 周年事業の実
施計画は。

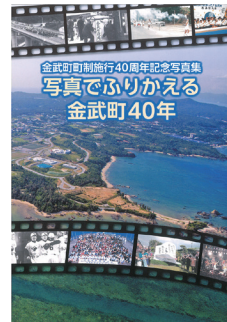
仲間 一町長 町制施行
45年を迎える2025年
(令和7年)にパネル展示
等の実施ができるよう検討
をしていく。

前田議員 記念事業等検
討委員会の設置やテーマ募
集の考えは。

町長 2030年(令和
12年)の50周年の節目に周
年事業の開催に向けて適し
た時期に検討委員会を設置
し、開催時期やテーマなど
について検討をしていく。

前田議員 45周年事業を
できない理由は。
知念久 総務課長 通常

周年事業は10年スパンが一
般的である。45周年の時に
50年周年に向けたイメージ
を持って取組みを考えてい
く。



町制施行40周年記念写真集

屋嘉海岸後背地の遊歩道 整備及び芝刈り機配備等

前田議員 屋嘉ファミリ
ーマート向かいの出入口はス
スキ等が生い茂り、身の危
険を感じるとの声がある
が、屋嘉海岸後背地の遊歩
道周辺の整備は。

町長 現在、ススキ等が繁
茂している状況を確認して
いる。当該施設を安全・安
心に利用してもらうよう、
本年度も引き続き草刈り等
を実施していく。



ススキが生い茂っている屋嘉海岸後背地の遊歩道

前田議員 歩道の周辺に
洗濯機が廃棄されている
が、撤去や注意看板、警告
看板等の設置も必要だと考
えるが。

伊芸英明 住民生活課長
洗濯機等々は建設課と一緒
に対応して今後は適正な管
理に努めていくように体制
を整えていく。



不法投棄されている洗濯機

前田議員 乗用草刈り機
は各区に配備できないか。

伊芸剛 建設課長 各区
で管理する公園の面積は1
台で十分可能であると考え
ている。前もって利用する
日程を調整してもらって今
後も引き続き活用してい
きたい。

農地周辺の傾斜地崩落と 赤土流出

前田議員 屋嘉渡久比那
原948-1の農地崩落が
あったが工事時期は。

町長 農家から相談があ
り、何度かのり面、排水側
溝の補修を行っている。隣
接する農地にはビニールハ
ウスがあり、豪雨の際には
ハウスとハウスの間が雨水
の通り道となり、のり面を
侵食していると考えられる
ため再度、町、土地改良区、
農家で調整し、排水対策と
のり面の修繕を行ってい
く。



渡久比那の崩落地

前田議員 同地域の分水
路の赤土流出対策は。

町長 サトウキビやパイ
ン、花卉等が栽培されてお
り、台風や大雨時には農地
からの赤土流出がある状況
である。その対策として農
家には圃場周囲へのグリー
ンベルトの設置やマルチの
活用等による対策の徹底を
促し、町では土地改良区
と連携して排水側溝、沈砂
池等の定期的な浚渫管理を
行う等の対策を実施してい
る。



渡久比那原分水路


並里区民広場の機能向上

與那城直也 議員
與那城議員 並里区区民

広場は照明設備の老朽化による機能の低下から日照時間の短い時期に少年野球の利用に支障を来たしており、また、照明機能の低下を理由に夕方以降、区民が利用できる状態となっていない。トイレについても狭い中でドアもついておらず、バックネットの支柱も劣化しており、通常の利用に支障を来している状況があるが機能改善を図る計画はあるか。

比嘉貴一 教育長 ナイ

ター照明設備は平成30年度に一部修繕を行っている。


並里区民広場

トイレの改修は機能、付帯設備の内容を精査する中で別の場所へトイレの建替えも検討していたが、国道金武バイパス工事に伴う隣接道路の線形変更等で広場の形状変更もあったことから、新たな設置場所の決定に至っていない。

與那城議員 行政懇談会

や区長会において各区から出ている要望にはどのような対応可否の判断や優先順位をつけているか。

教育長 行政懇談会や区

長会等における各区からの要望についてはその内容を精査し、各区の要望を実現できるように取り組んでいる。

與那城議員 バックネット

の支柱と支柱を繋ぐパイプが劣化しサビており危険である。

また、トイレは男女共同使用となっており区の行事では女性が使いにくくトイレのリース等しながら行事をしているため早めの対応をしてほしいが。

儀間権 社会教育課長

並里区民広場は平成4年度に改修されて30年経っており老朽化が見られるため町民が使える施設に改修を進めていく。


危険な状態のバックネット

用を足している姿が見えるトイレ
與那城議員 照明が設置

されてから23年経過し、塩害や劣化で安定器や照明器具はグラウンド内に落下し、区では定期的に補修をしているが危険な状態である。平成29年に当面の間ということで陸上競技場の水銀灯を移設したが、その間に伊芸区・屋嘉区はLED化されており、その場しのぎだったと感じる。

暫定使用する場合は期限を設けるべきではないか。

社会教育課長 計画性の

ものに対してはしっかり計画どおりに物事を進めて区の要望に応えられるように努めていく。


柵で囲まれた照明柱

腐食している照明

劣化している安定器


複合庁舎整備事業


池原政文 議員

池原議員 総合保健福祉センター施設の雨漏り等不具合箇所の現状は。

仲間一 町長 施設内の数か所で雨漏り、屋根瓦の飛散や破損、ボイラーの故障、空調設備の故障等の不具合が発生している。



瓦が飛散している屋根

池原議員 総合保健福祉センターを存置した場合と

解体して複合庁舎に統合した場合の経済性比較（解体費、建設費または維持管理費等の財政的比較試算）は。

町長 今後の大規模改修費用を含めて試算すると複合庁舎に同センターを統合して建設した場合、年間の維持管理費で約1000万円の削減、同センターの大規模改修費用で約7億円の削減、複合庁舎完成後の30年後の大規模改修費用を含めても約5億円を削減できると試算をしている。

池原議員 総合保健福祉センターの解体後、複合庁舎が完成するまでの期間中、町民が利用する施設等の計画は。

町長 解体後は複合庁舎完成までの期間中、町民が利用する施設等の計画については検討段階だが、町内公共施設の活用、仮設事務所の設置等により、支障を来さないよう努めている。

池原議員 総合保健福祉センターの解体に関するアンケートの実施は。

町長 複合庁舎整備に関する町民への周知が重要と考えているため、広報での特集記事掲載、住民説明会等で丁寧な説明を行うことが先決だと考えている。

池原議員 第2回住民説明会の各区の開催状況は。

町長 5月23日、6月8日まで開催した。（参加人数は左表のとおり）

住民説明の参加状況（人）

区	参加人数
金武	39
並里	33
中川	3
伊芸	20
屋嘉	10



各区での住民説明会

池原議員 説明会に町長は参加しているのか。

町長 副町長を中心にして進めているため出席していない。

池原議員 複合庁舎基本計画（案）の閲覧による町民の意見・提言。

町長 5名から提出があり、総合保健福祉センターを統合する案に賛成の意見、総合保健福祉センターの解体に反対する意見があった。

池原議員 複合庁舎建設検討委員会の組織及び活動状況は。

町長 令和4年10月に立ち上げ、計5回の審議を行い、基本計画の策定、答申を行っている。当該検討委員会における委員の役割は基本計画の答申により完了している。

小学校の少人数学級編制

池原議員 県教育委員会から町立小学校の少人数学

級編制に係る研究指定校として指定を受けた事例は。

比嘉貴一 教育長 令和5年度において町立小学校で沖縄県の少人数学級編制に係る研究指定校として指定を受けたのは金武小学校5年生1学級となっている。

池原議員 県内公立小学校で県基準より少ない独自の少人数学級編制を実施している学校は。

教育長 中城村の小学校2校となっている。

池原議員 令和5年度町立小学校の中で町基準の少人数学級編制の上限人数を上回る学級は。

教育長 支援が必要な児童が在籍している金武小学校1年1組を34人とし、2組を36人としたため1年2組が上回っている。

池原議員 令和5年度町立小学校3校の空き教室の現状は。

教育長 現在空き教室はない。



仲村広美 議員

マイナンバー制度及び マイナンバーカード

仲村議員 町のマイナンバーカード、マイナ保険証の普及率は。

仲間 一町長 令和5

年5月末時点、マイナンバーカードの交付件数は6001枚、交付率52.2%となっている。マイナ保険証の普及率は市町村ごとに公表はされておらず町の普及率は把握していない。

仲村議員 マイナンバーカードを取得するための手続の流れは。

町長 役場で申請を希望する場合、住民生活課窓口で本人確認後、申請書の作

成と顔写真の撮影を行い、それらのデータを送信すると申請手続が完了となる。

また、カードの申請については個人のスマートフォンや郵便局でも申請が可能となっている。

申請から約1か月後、カードは国と地方公共団体が共同で管理する法人の地方公共団体情報システム機構より役場へ配達され、役場から申請者へカードの交付案内はがきを送付し、来庁した申請者が暗証番号等の必要事項の入力を行った後、カードが交付される。

仲村議員 健康保険証とマイナ保険証の違いは。

町長 従来の健康保険証は保険証自体に氏名や生年月日等の資格情報の記載があり、加入する保険者ごとに作成が必要となっている。これに対しマイナ保険証はICチップがマイナンバーカードに組み込まれて

おり、オンラインで保険者と医療機関を繋ぐことで住民がその時点で加入する健康保険証の資格情報等が医療機関側で迅速に把握することができるようになっている。

また、マイナポータルから自身の薬剤の処方履歴等の医療情報が把握できるようになっている。

仲村議員 町でマイナンバーカードに関するトラブルはあったか。

町長 報道されている登録誤り等についての相談や連絡は受けていない。



マイナンバーカード

幼児教育の振興

仲村議員 金武町幼児教育センターの組織化に向けての取組み内容は。

比嘉貴一 教育長 金武町

幼児教育センターは学校教育課に幼児教育主事を新たに配置したほか、学校教育課長、小学校担当指導主事、中川幼稚園職員、幼小中接続アドバイザー、こども支援課長や金武こども園主幹保育教諭等が構成員となっており、両課が連携し運営にあたっている。

主な取組みは公開保育、公開授業、年齢別研修会、保育園から中学校までの合同研修会、幼児・児童・生徒の交流活動、幼児教育から小学校教育へのアプローチカリキュラム、小学校入学後のスタートカリキュラム等を実施している。

仲村議員 教育委員会とこども支援課のどちらがリーダーシップを持って進めるのか。

のか。

金城明美 学校教育課長

幼児教育主事を配置することでこれまでの学びが深まり、こども支援課との連携が強くなるということで、学校教育課の幼児教育主事がこの全体の把握をして取り組みを進めていく役割となっている。

仲村議員 教育委員会とこども支援課は幼児教育支援体制についてどのように考えているか。

学校教育課長 学びの基礎力育成支援事業を組織的に展開していくということで立ち上げられたものであり、学校教育課の担当、幼児教育主事、担当指導主事、こども支援課と綿密な連携を取りながらこのセンターを軌道に乗せていきたい。

仲間 賢 こども支援課長 各こども園、保育園から小学校への繋がりが幼児教育のレベルを一定以上に上げられると考えている。



大城一之 議員

ボランティアごみ袋

大城議員 ボランティアごみ袋製作の目的と製作枚数、費用は。

仲間一町長 春・秋の

各班清掃や夏に行う海浜清掃、きれいなまちづくりに努めていただいている個人・町内各種団体等に対し、町内の環境美化活動の機運を高め支援をしていくため、令和4年9月の秋の各班清掃からボランティアごみ袋の利用を開始し、広く活用してもらっている。

枚数と費用は特大、大ともに1万枚を製作し、費用は約43万円となっている。

大城議員 ボランティアごみ袋活用のルールは。



ボランティアごみ袋

町長 運用方針に基づき、海岸や河川、公園等、公共の場所の清掃活動に対してボランティアごみ袋を無償で交付をしている。

ボランティアごみ袋の利用を希望する場合は原則1週間前までに住民生活課生活環境係の窓口へ申込みをしてもらい、活動内容や必要なごみ袋の枚数の確認と併せて収集していただいたごみを燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみ、有害ごみの4種類に分別することや、回収方法、その他の注意事項等についても説明をして交付をしている。

大城議員 これまでの利用状況は。

町長 個人・各種団体等からの申請が11件、春・秋の各班清掃を含め約5300枚の利用となっている。

大城議員 区から班長に

ボランティア袋は一般ごみと一緒に出しても清掃車は持つていかないため日曜日に出せるのは軽トラックに積んだ草木のみの説明だったが誰が回収するのか。

伊芸英明 住民生活課長 町で回収することになっている。

コンビニやスーパー等の周辺のゴミ

大城議員 店舗周辺住民

からのごみ捨て被害の苦情は。

町長 購入した商品を飲食した後にごみを持ち帰らずに捨てている状況があり、周辺住民からの苦情、相談が寄せられている。

大城議員 町の環境・衛生に対する整備の考えは。

町長 循環型社会づくりのため、平成23年10月からの指定ごみ袋導入によるごみの排出抑制やごみの適正分別の推進並びに資源ごみの回収を強化し再資源化に取組んでいる。

大城議員 児童・生徒への環境美化教育は。

比嘉貴一 教育長 各小・中学校それぞれ環境美化活動に取組んでいる。

戸別受信機設置

大城議員 設置状況は。

町長 令和5年5月末時点で設置件数が4030件、設置率は70・3%である。

大城議員 放送内容及び受信機の機能は。

町長 台風等の災害情報、町や各区、各団体からのお知らせ、お悔やみ情報等をお知らせしている。

通常のお知らせが流れる放送機能、聞き逃した放送を再生できる再生機能があり、Jアラート等の緊急性

の高いお知らせが流れる場合は最大音量となり、ライトが点滅する。

大城議員 録音機能はどういう情報に対応しているか。

知念久 総務課長 放送された全ての放送に対応している。

大城議員 町民からの要望や苦情はあるか。

町長 操作方法の問合せ、音の大きさ、受信感度不良等があり、受信感度が悪い場合には屋内の受信調査を行い、屋外アンテナの設置をしている。また、機器の不具合の場合は交換対応をしている。

大城議員 最低音量でも音が大きいために小さい子どもがいる家庭は戸別受信機を設置しないのでは。

総務課長 防災無線の機能が逆に生活の妨げにならないように音量については検討していく。



松田健人 議員

働き方改革、効率的な業務改革に関する町の考え方
松田議員 働き方改革、

効率的な業務設計についての検討・試行・検証に係る検討担当部署の存在は。

仲間 一町長 働き方改

革関連法の施行に伴い、町は有給休暇の取得促進、時間外勤務の在り方等について検証を行い、職員労働組合との協議を踏まえ、労働環境や働き方改革に関しては総務課で情報の共有を図って随時取組んでいる。

休暇・休業制度は配偶者の出産に伴う男性職員の産後育児休業制度、不妊治療の特別休暇等が整備された。

松田議員 男性職員の産

後育児休業制度、不妊治療の特別休暇等について取得の実績は。

知念久 総務課長 出産

に伴う育児休業は現在取得した方はいない。不妊治療は数件の利用はあったと認識している。

松田議員 取得率を増やすための取組みは。

総務課長 制度を設置し

たがまだ認知されていないと感じているため周知を行い、男性職員に一声かけるようにしていく。

松田議員 テレワークシ

ステムは全職員が同時に使用できるのか。

総務課長 外部に持ち出

すパソコンと役場内部のデータをつなげる特殊な機器は数が限られている。

今後は町で導入していくのかテレワークに適した業務はどういうものなのかを含めてテレワークが有効活用できるか検討していく。

金武町複合庁舎整備事業
松田議員 住民説明会を

開催した趣旨と経緯は。

町長 令和4年度に策定

した金武町複合庁舎建設基本計画の説明と町民の皆様との意見交換により、町民意見の集約を図り、よりよい複合庁舎整備を進めていくために実施した。

松田議員 各区から出た

主な意見は。

町長 「町でじっくり考え

て事業を進め、長く使用できる施設を造ってほしい」旨の賛同意見、総合保健福祉センターの解体に反対をする意見があった。その他には事業費、駐車場、複合機能、コミュニティバス、財源等に関する内容の意見、質問があった。

松田議員 総合保健福祉

センターの解体、統合案の反対意見について、具体的な内容は。

安富祖勸 複合庁舎整備
推進課長 総合保健福祉セ

ンターは築23年ということので取壊しはもったいないという意見があった。

また、浴室を利用していただく方の意見として浴室のバリアフリーがあり利用している時は良い施設だったというところで浴室も含めてそのまま施設を継続してほしいという意見があった。

松田議員 庁舎建設と合

わせることで高率な9割補助金交付ができ町の支出も抑えきれんということに住民説明会の中で説明したか。

複合庁舎整備推進課長

総合福祉センターを残した場合1000万円増となり、築30年過ぎた時には大規模改修で約7億円の経費がかかる。大規模改修を含めてもトータルで約5億円有利だと説明もしている。

松田議員 現時点での工

事費はいくらになるのか。

複合庁舎整備推進課長

概算工事費については造成等も含めて約69億円となっている。

松田議員 総合保健福祉

センターの単独改修補助メニューはあるのか。

複合庁舎整備推進課長

補助事業はないため一般財源での対応になる。

松田議員 PTAや社会

教育団体等にも説明しても良いと考えるが。

複合庁舎整備推進課長

団体の理解いただければ説明していきたい。



雨漏り等で維持管理費が増えている保健福祉センター



大城政敏 議員

複合庁舎の建設用地選定 及び建設

大城議員 総合保健福祉

センターを壊して役場を建設することで決定しているが、間違いないか。

仲間一町長 用地検討

委員会、建設検討委員会の答申、町民アンケート、職員アンケート、地域説明会や関係団体の意見交換を踏まえ、中長期的な経済性や敷地活用の利便性等を総合的に勘案し、同センターを解体し、同センター内にある社会福祉協議会や就労支援センター、高齢者福祉、健康づくり等の機能を複合庁舎へ統合し、整備することとしている。

大城議員 令和4年10月

に区民への説明会で総合保健福祉センターはそのまま利用する方針で取り壊しは考えていないと答弁しているが、その真意は。

町長 これまで乳児健診や

10時じゃー、住民健診、高齢者生きがい活動支援通所事業等、乳幼児から高齢者までの町民の健康づくりや福祉機能等を果たしてきた役割を尊重し、その時点では解体について決まっていなく、残したまま複合庁舎建設の検討を行っていたため、取り壊さない旨の説明を行った。

その後、建設検討委員会での審議において解体・統合も検討すべきとの意見があり、経済比較等の検討を重ね、同センターの不具合や今後大規模改修に係る約7億円の費用が必要なこと、年間の維持管理費が1000万円の増額となることから中長期的な経済

性、敷地活用の利便性、町民サービスの利便性、交流機能や防災機能等の向上を勘案し、苦渋の決断ではあるが複合庁舎へ総合保健福祉センターの健康づくりや福祉機能等を引き継ぎ、統合する案で進めることとした。

大城議員 令和4年のア

ンケートでは総合保健福祉センターを取り壊して、役場を造るアンケートはなかったが、今後またアンケートを取る気持ちはあるか。

安富祖勸 複合庁舎整備推進課長

町民への理解が重要だと考えているため、アンケートは全く考えていない。まずは基本計画の中身でその意義また町民の賛成意見、反対意見への回答を含めて、町民への周知を図ることが、町がやるべきことだと考えている。

大城議員 総合保健福祉

センターの借入れの返済があと2年残っているのか。

複合庁舎整備推進課長 最終の償還が令和7年11月となっている。

大城議員 総合保健福祉

センターを取り壊して役場を建設することに対する住民の理解度について町長はどのように認識しているか。

町長 これまで町民説明

会をやってきており、反対意見も一部あるが大多数が複合庁舎を造ることで金武町の役場機能が1つに集約されて、行政サービスが今以上に良くなると町民は認識していると考えている。

デジタル時代への対応

大城議員 各区公民館を

役場業務に対応できる活用方法はあるか。

町長 各区公民館におけ

る役場業務対応は各種配布物、調査・アンケート等の行政事務委託の役割を担っ

ている。

今後のデジタル社会の進展に伴う地区公民館における役場業務の対応について※自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の進捗状況を踏まえ、各区と協議をしていく。

※自治体DXとは

自治体がデジタル技術を活用し、住民の利便性や行政サービスの質を高めること。

人事

大城議員 平成26年々令

和4年までの正規職員の退職者と採用人数は。

町長 定年退職者24名、普

通退職者17名、勸奨退職者5名、採用者44名である。

大城議員 地方公務員法

22条1項の条件付採用期間中に退職した職員は。

町長 条件付採用の6か

月の期間中に退職した職員は平成26年以降いない。

令和5年 第5回（6月）定例会

令和5年第5回定例会が6月13日（火）に招集され、16日（金）までの4日間の会期で開催された。一般質問は13名の議員が登壇した。

各会計の補正予算や条例改正、工事請負契約、教育委員、教育長の同意などの議案が上程され、審議を行った。議決結果は、下記のとおり。

令和5年 第5回（6月）定例会 議決結果一覧

件 名	議決結果
令和5年度金武町一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ1億4,940万3,000円を増額し、補正後の予算総額を113億2,929万5,000円とするもの。補正の主なものは、物価高騰の負担が大きい低所得者（非課税世帯）への30,000円給付、伊芸・屋嘉地区冠水対策工事の資材価格高騰及び軟弱地盤対策工等の追加、旧嘉芸こども園解体に係るアスベスト撤去工事である。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 報酬、職員手当等及び共済費に係る人件費、伊芸・屋嘉地区冠水対策工事、嘉芸小学校屋内運動場建設工事等へ7,356万9,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
令和5年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ211万1,000円を増額し、総額18億9,895万9,000円とするもの。補正の主なものは、人事異動に伴う人件費の増額である。	原案可決 (全会一致)
令和5年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ155万7,000円を増額し、総額1億8,567万2,000円とするもの。補正の主なものは、人事異動に伴う人件費の増額である。	原案可決 (全会一致)
令和5年度金武町下水道事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ144万2,000円を増額し、総額を1億5,629万円とするもの。補正の主なものは、人事異動に伴う人件費の増額である。	原案可決 (全会一致)
令和5年度金武町水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出の水道事業費に62万8,000万円を減額し、総額を5億9,120万円とするもの。補正の主なものは、人事異動に伴う減額である。	原案可決 (全会一致)
金武町税条例の一部を改正する条例について 地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令等の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が施行されることに伴い、条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
物品の取得について 品 名：金武町立学校給食センター備品（真空冷却機） 購 入 先：株式会社 第一機行 購 入 価 格：1,331万円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名：塩先原橋補修工事 契約の相手方：株式会社 ホカマ 契 約 金 額：1億2,215万5,000円	原案可決 (全会一致)

件 名	議決結果
工事請負契約締結について 件 名：屋嘉地区体育館屋根改修工事 契約の相手方：有限会社 大豊建設 契 約 金 額：8,167 万 5,000 円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名：金武町ベースボールスタジアム内野スタンドベンチ設置工事 契約の相手方：有限会社 大豊建設 契 約 金 額：6,446 万円	原案可決 (全会一致)
物品の取得について 品 名：電子黒板購入（金武町G I G Aスクール機能強化事業） 購 入 先：西日本電信電話株式会社 購入価格：1,112 万 1,000 円	原案可決 (全会一致)
金武町固定資産評価審査委員会委員の選任について 寶正徳氏を固定資産評価審査委員会委員に選任するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)
教育委員会委員の任命について 宜野座幸男氏を教育委員会委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (全会一致)
教育長の任命について 比嘉貴一氏を教育長に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (全会一致)
沖縄県北部医療組合議会議員の選挙 沖縄県と北部12市町村を構成団体とする沖縄県北部医療組合が設立されたことに伴い、外間慎仁議員を同組合議会の議員とするもの。	当 選
議員派遣に関する決議	可 決 (全会一致)

用語解説

同意とは・・・

町長が事務を行うにあたり、その前提となる議会の議決のことをいう。

これを一般に「議会の同意権」と呼びます。

議会の同意の対象となるものは、副町長、監査委員の選任同意や教育委員の任命同意など。

令和5年 第6回（8月）臨時会

令和5年第6回臨時会が8月4日（金）に招集され、1日間の会期で開催された。
臨時会では、国の交付金を活用したエネルギー・食料品等の価格高騰に係る生活者支援の補正予算や工事請負契約を審議し、採決の結果可決となった。
議決結果は下記のとおり。

令和5年 第6回（8月）臨時会 議決結果一覧

件 名	議決結果
令和5年度金武町一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ5,610万8,000円を増額し、総額113億8,540万3,000円とするもの。補正の主なものは、エネルギー・食料品等の価格高騰の影響を受ける生活者の経済的負担軽減のため全世帯を対象に令和5年9月～令和6年2月分まで水道料金を免除するための経費である。	原案可決 (全会一致)
令和5年度金武町水道事業会計補正予算（第2号） 補正の主なものは、令和5年9月～令和6年2月分に相当する水道料金収入を減額し、その分を一般会計から補助金として受け入れるもの。	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名：宇謝・前原地区ポンプ等取替工事 契約の相手方：(有) 大豊建設・丸中水道工事社 建設工事共同企業体 契 約 金 額：1億7,947万6,000円	原案可決 (全会一致)

叙 勲



伊藝弘明氏

元金武町議会議長で3月2日に死去した伊藝弘明氏の地方自治への功績が認められ、旭日単光章を受章した。特旨叙位及び特別叙勲伝達式が7月24日（月）、県庁で開かれ伊藝弘明氏の長男悠さんに沖縄県の池田竹州副知事が勲記と勲章を手渡した。

伊藝氏は昭和61年9月、金武町議会議員に初当選、以後4期にわたり議員を務め、産業建設委員長や総務財政委員長を歴任、平成12年12月から平成16年12月まで議長を務めた。



池田副知事（左）から勲記を受け取る悠さん（右）



勲章を手にする次女萩子さん（右）

常任委員長・副委員長実務研修会

5月10日（水）、自治会館で沖縄県町村議会議長会主催の常任委員長・副委員長実務研修会が開催され、金武町議会から5人の委員長・副委員長が参加した。

研修会では沖縄県町村議会の石垣安秀アドバイザーが「所管事務調査の意義と仕方について」と題して地方自治法で定められている常任委員会の権能である調査権について説明した。石垣氏は県内の市議会や県外自治体の調査事例を示し委員長・副委員長がリーダーシップを図り、委員会活動を活発に行うよう促した。



所管事務調査について語る石垣安秀アドバイザー



町村議会議長・副議長研修会

5月23日（火）、全国町村議会議長会主催の令和5年度町村議会議長・副議長研修会が東京国際フォーラムで開かれ、金武町議会から嘉数義光議長と前田健次副議長が参加した。

研修会では大正大学社会共生学部教授の江藤俊昭氏が「町村議会の課題と今後の展望について」、NPO法人ブロードバンドスクール協会理事の若宮正子氏が「町村こそデジタルを一住民のためのデジタル活用法」、株式会社朝日新聞社コンテンツ編成本部次長の三島あずさ氏が「町村議会とハラスメント」と題して講演を行った。

川俣町議会が広報委員会を視察研修

金武町議会は6月21日（水）、福島県川俣町議会広報編集常任委員会の「議会だよりの編集」に関する研修を受け入れた。

議会広報調査特別委員会の松田健人委員長が「きんてん」の編集過程を説明するとともに、前田健次副議長と伊藝菊博副委員長を交え川俣町側と意見交換を行った。



金武町議会で行われた川俣町議会広報編集常任委員会の研修

北部市町村議会議員・事務局職員研修会

7月3日(月)、国頭村民ふれあいセンターで北部市町村議会議長会主催の北部市町村議会議員・事務局職員研修会が開催された。研修会では一般社団法人国頭村観光協会会長の比嘉明男氏が「世界自然遺産と北部観光」と題して講演を行った。比嘉氏は世界自然遺産登録後、国頭村を訪れる観光客が増えているが、今後は車の運転免許を持っていない人が増えてくるため2次交通のしくみづくりが喫緊の課題であると述べた。また、W i - f i やテレワーク環境の整備も重要であると話した。

講演終了後には、村内視察、スポーツレク大会と交流会が開催された。

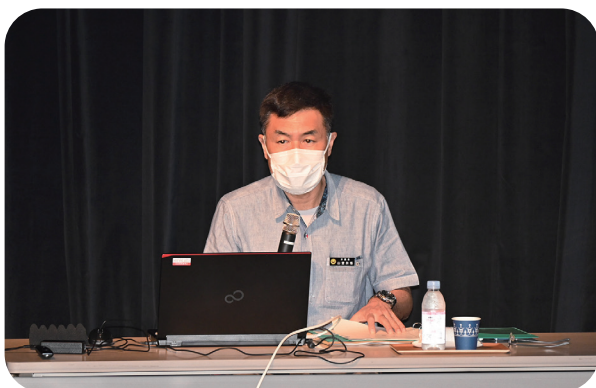


国頭村での取組について語る比嘉明男氏



町村議会正副議長・正副委員長研修会

8月16日(水)、ちやたんニライセンターにおいて沖縄県町村議会議長会主催の町村議会正副議長・正副委員長研修会が開催された。研修会では沖縄県知事公室防災危機管理課長の山里永悟氏が「国民保護計画について～避難実施要領の策定～」と題して武力攻撃や大規模テロがあった際、国、地方公共団体、関係機関等が協力して住民を守るための仕組みについての説明があった。また、全国町村議会議長会議事調査部長の飯田厚氏が「町村議会を取り巻く現状と課題」と題して講演した。その中で統一地方選挙の概要として、議員のなり手不足から立候補者の数が定員に満たないのが20町村あったことが説明された。



山里永悟氏



飯田厚氏

議事録検索システム

本会議が検索できます。

金武町HPの会議録検索システムから下記のページに移動することができます。



金武町議会 会議録検索システム

①検索する期間を指定する。

基本的な検索方法

▶ 期間指定
選択された年

②会議での発言者を指定する。

▶ 発言者指定
検索したい【役職名】もしくは【議員名】を選択し、【質問者】もしくは【答弁者】のチェックボックスにチェックを入れてください。初期設定では、両方を検索します。

③会議別を指定する。

会議指定
検索したい【会議別】を選択し、【発言者】のチェックボックスにチェックを入れてください。初期設定では、両方を検索します。

④検索したいワードを入力する。

▶ キーワード指定
入力されたキーワードは検索ボックスに入力されます。検索ボックスに入力されたキーワードで検索します。

①～④を入力後、クリックする。
(上記①～④を指定せず『検索』ボタンをクリックすると全会議・全発言者が表示されます)

検索 リセット

9 月 定 例 会 の ご 案 内

9月定例会の開会は9月12日(火)を予定しており、日程が決まり次第、戸別受信機やホームページでお知らせいたします。

金武町議会事務局

NTT：098-968-2292

QRコードを読み取ると議会中継サイトに繋がります。
金武町ホームページからもご覧になれます。



状況は町立図書館と各区事務所に配布している会議録をご覧になれます。
また、上記QRコードをスマートフォンで読み取ると映像が視聴できます。